

スポット ニュース

斜面を保護するための壁を設置しています

現在、瑞浪超深地層研究所用地では、造成工事の一環として研究所用地の土地を広く活用するために土を盛り上げています。その時できる斜面を保護するために壁ようへき（擁壁といいます）を設置しています。

なお、壁の設置工事は12月末まで行う予定です。工事の終了後には、瑞浪超深地層研究所用地の南側に入退路を整備する予定です。



壁ようへき（擁壁）の設置工事の様子

今月の作業内容

【瑞浪超深地層研究所】

浅い4本のボーリング孔（MSB-1, 2, 3, 4号孔）
（地層中の水圧などを測る装置の設置および長期観測）

深いボーリング孔を掘るための造成工事

（MIZ-1号孔 掘削長1,350mを掘る予定）

瑞浪超深地層研究所用地内の造成工事（12月19日現在の進捗率：約38%）

（3段の段差がある土地を2段にする作業など）

仮設現場事務所の移設工事

用地内の点検経路の整備作業

【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧の長期観測

除草、枝払い、下草刈りの作業

東濃地震科学研究所による重力調査（12/16～20）

地層研ニュースに関するご質問または、瑞浪超深地層研究所や正馬様用地の見学をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

：0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課（青木, 茅吹, 福島）

文化・歴史・自然を楽しむ in 瑞浪

みづなみいちりづか 【瑞浪一里塚】

所在地：瑞浪市大湫町字細久手618番地の1
一里塚は、室町時代の末期に諸将によって始められ、織田信長によってさらに広められました。江戸時代になると全国統治上の必要から整えられた五街道に築かれたもので、中山道の場合は東海道と共に1604年に江戸日本橋を起点として36町を一里として構築されました。

岐阜県内の旧中山道の宿は落合から今須まで約132kmで16宿あり一里塚は32ヶ所構築されました。そのほとんどが長い年月の間に荒れ果ててしまい

現在残っているのは約半数の十数ヶ所のみです。瑞浪市内のように一里毎に連続した4ヶ所の一里塚が当時のまま残っている例は全国的にもまれです。



瑞浪一里塚の様子

来月の作業予定

【瑞浪超深地層研究所】

深いボーリング孔を掘るための造成工事
（MIZ-1号孔 掘削長1,350mを掘る予定）

瑞浪超深地層研究所用地内の造成工事
（3段の段差がある土地を2段にする作業など）

用地内の点検経路の整備作業

浅い4本のボーリング孔（MSB-1, 2, 3, 4号孔）
（地層中の水圧などの長期観測）

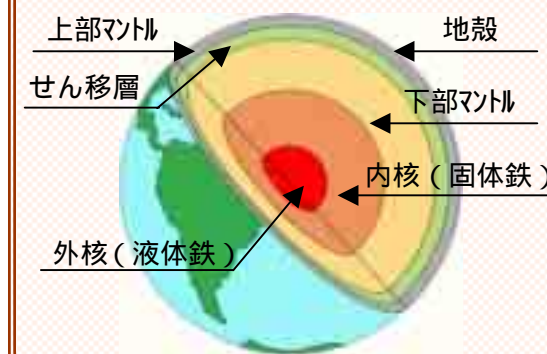
【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧の長期観測
除草、枝払い、下草刈りの作業

用語あれこれ

ちかく 【地殻って何？】

地球表面は主に花崗岩と玄武岩という岩石からできています。これは主に地球の殻のようなものでできていますから地殻と呼ばれています。地殻の厚さは約10～60kmほどで地球の半径からみると2%程度です。



地球の仕組み

お詫び

12月18日午後、瑞浪超深地層研究所に生コンクリートを搬入した会社のミキサー車から残った生コンクリートがこぼれ出ました（瑞浪市民公園付近から国道19号線薬師交差点付近）。すぐにサイクル機構職員と建設関係者らにより道路清掃作業を行いました。皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。今後、再発防止に努めて参りますのでよろしくお願いたします。